

家畜衛生広報



ながの

R7-2

令和7年(2025年) 5月 7日

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Fax. 026-227-2665
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

豚丹毒 の対策を再確認しましょう

豚丹毒の特徴

- 様々な動物が感染
人にも感染する可能性あり
環境中に広く存在
- 保菌豚が多く、ストレスで発症
発症していなくても排菌し、菌を広げる
慢性型（心内膜炎、関節炎）はと畜場での発見が多い
- 経済損失が大きい
敗血症による死亡や繁殖豚の流産
と畜場での発見は全廃棄

尋麻疹型

皮膚に菱形の発疹。体表が汚れていると発見が遅れることあり。
出荷時はしっかり確認しましょう。



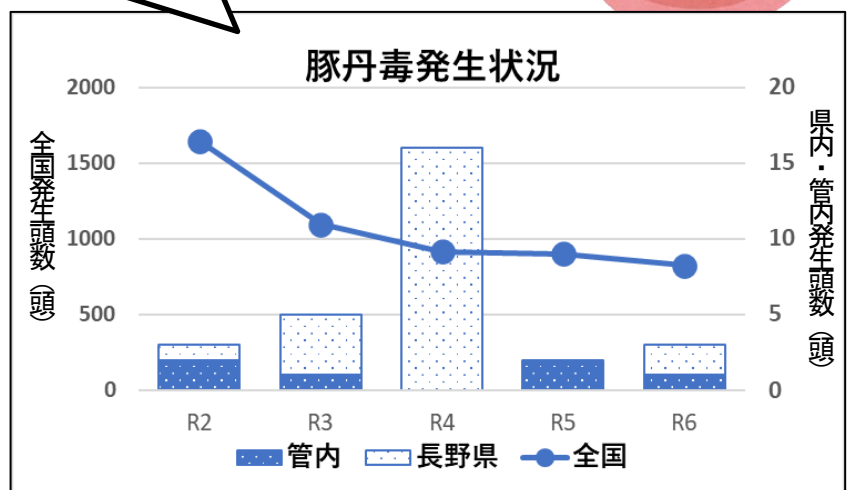
農研機構 動物衛生研究部門HPより



豚丹毒の対策

- ワクチン接種
・生ワクチン：皮下に1回接種
繁殖豚の場合は6か月に1回追加接種
肥育豚の場合は移行抗体に注意
・不活化ワクチン：筋肉内に2回接種
移行抗体の影響は受けない
3～5週間隔で2回接種
- 飼養管理
ストレスを軽減
衛生的な飼養を心掛ける
飼養衛生管理基準を遵守

管内ではほぼ毎年発生あり！



～～農場の飼養管理とワクチン接種プログラムを再確認しましょう～～

不明な点やご相談は防疫課まで！

☎ 026-226-0923



消毒は伝染病予防の第一歩

